

食品・健康・農林水産分野でご活躍のみなさまへ

参加無料

令和5年度 大学教員による公開講座

オンライン開催

「食事で健康を科学する」

第1回「モデル動物を用いた脳機能解析」

12/1 (金) 12:40~14:10

講師 大西 浩史 先生 大学院保健学研究科・教授

(概要)

脳は全身を制御する中枢です。食習慣や食行動、嗜好や代謝も脳の働きで調節されます。また逆に、食生活は脳の機能に大きな影響を与えます。本講義では、遺伝子を操作したモデル動物を使った脳研究を紹介します。

第2回「脂肪酸の組成と健康」

12/1 (金) 14:20~15:50

講師 松井 弘樹 先生 大学院保健学研究科・准教授

(概要)

脂質の基本成分である脂肪酸は、生体のエネルギー源や細胞膜の構成成分などに利用されますが、こうした脂肪酸組成の変化が、生体に様々な影響を与えることが明らかとなってきました。本講義では、食習慣と脂肪酸バランスが健康に与える影響について解説します。

第3回「食事管理行動に関するセルフマネジメント」

12/1 (金) 16:00~17:30

講師 岡 美智代 先生 大学院保健学研究科・教授

(概要)

この授業では、健康的な食事が必要だと頭でわかっているにもかかわらず、実際には適切な行動はできない人はたくさんいることを理解し、食事管理行動に影響する要因と、健康的な食事管理行動の支援方法について学びます。

第4回「こんにやく粥研究の実際」

12/7 (木) 12:40~14:10

講師 葭田 明弘 先生 大学院医学系研究科・助教

(概要)

この授業では以下の内容を解説します。・糖尿病と合併症 ・日本人の糖尿病発症リスク ・糖尿病発症リスクの検査①75gOGTT ②血算・脂質 ・こんにやくの血糖値への有用性 ・こんにやくの研究の実施の流れ

第5回「膵ホルモンと栄養素、糖尿病との関連」

12/7 (木) 14:20~15:50

講師 小林 雅樹 先生 生体調節研究所・講師

(概要)

血糖調節にはインスリンだけでなく多くのホルモンが関わり、これらのホルモンは様々な栄養素により調節されています。本講義では血糖上昇ホルモンであるグルカゴンについて、アミノ酸による変化と糖尿病との関連について紹介します。

開催方法：Zoomを使ったのオンライン講座

※申込時に受けたい講座を選択してください（複数可）

参加費：無料

申込期間：11/13(月)~11/27(月)

お申し込みはこちら ⇒



URL：<https://forms.gle/oMF5WMbUMRpYSLRA>

【お問合せ】

〒371-8510

群馬県前橋市荒牧町4-2

国立大学法人群馬大学

研究推進部産学連携推進課 荒牧センター事務室

☎：027-220-7449

✉：shokukenkou-c@jimu.gunma-u.ac.jp

